

世の中の安全と安心を守る、 金属製品の総合メーカー

港製器工業株式会社は1961年の創業以来、海上輸送に欠かせないコンテナ船用固縛資材をはじめ、鉄骨建方治具、物流機器からエクステリア製品まで多角的な事業展開でさまざまな分野の金属製品の企画、設計、製造まで一貫通貫体制で行っている。代表取締役社長の岡室昇志は「製品開発の基本はマーケットインです。ニーズを考えずに製品化すると、ヒットしないことが多くムダな努力をすることになります」と話す。

(文中敬称略)



代表取締役社長 岡室 昇志

お客さまが描くイメージを スピーディーに形にしてい

同社が掲げる経営理念「イメージをスピード実現する達人として、共に未来を創ります。」を通じ、技術とノウハウを極めた達人がお客さまの描いているイメージを共有し、スピーディーに形にしていものづくりを実践している。

「お客さまが図面を描いてそれに基づいてつくるとなると、価格競争になってしまいます。お客さまからご要望や困りごとをお聞きして、こんな製品をつくりたいというイメージをもらって弊社が図面にします。問題解決のために機能はもちろんだら、強度、コストを考えて設計開発していくことが、弊社でしかつけれないオリジナル製品を生み出すスタイルですね」

ものづくりの拠点が海外に移行し、一時は価格競争に巻き込まれそうになったが、下請け体質から脱却すべく、ものづくりの付加価値を一から見直すことで製品開発力を高め、経験と技術力で実績を積み重ねてきた。

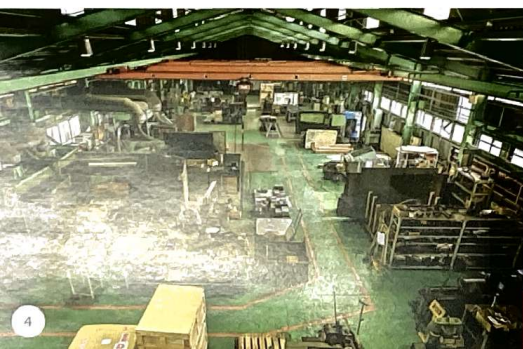
世の中には一流という名のプロは数多くいるが、道を極めた達人は唯一無二であり、他社から教を請われる認められる存在だ。お客さまが描くイメージには理想や目標、到達点など、現実化したいという強い想いがあふれている。その想いを世間で通用する達人がスピードを持って未来を創造しているのが、同社がめざすものづくりである。

目に見えない安全と安心を担う、 縁の下のものづくりを実現

移動や輸送における事故を防ぎ、業務の安全と安心を守る。同社の製品に共通するキーワードになっているのが、縁の下の見えないものづくりだ。

主力の船舶のコンテナを固定するラッシング資材、ビル建築を革新的な工法でサポートする鉄骨建方治具「ATOMU」、パレットや台車などの物流機器、重量物を安全に吊る吊天秤、マンションの壁面に設置する落下防止ネット、住居を守るフェンスや、アコーディオン扉扉といったエクステリア関連など、すべて安全と安心を保証する確かな製品である。

「これらのアイテムは目立つことのない製品かもしれませんが、「安全」「安心」を守る資材として暮らしに欠かせない縁の下の力持ちのような製品です。そういった製品をつくっていること



を自覚しながら私たちは引張圧縮試験や硬度試験、落下試験などの強度試験を自社で繰り返し、標準の試験機のほか、製品が多岐にわたるので複雑な形状の製品に対しては専用のオリジナルの試験装置や独自の試験方法を考案しています」

敷地内には試験室、落下試験場、モックアップ試験場、磁粉探傷試験場の4か所の試験場があり、自社製品の強度試験だけでなく、外部からの試験依頼も多い。強度試験を受託することで試験結果に加え、蓄積されたノウハウを生かした適切なアドバイスができるのも同社しかできない強みにもなっている。

マーケットインでテーマを探し、 設計力と提案力で開発につなげる

同社は売上の2%を開発費として予算に充てることで、未来の仕事のタネを蒔き、日々の業務と並行して開発テーマを持ってチャレンジしている。いい製品をつくれれば売れるという製品ありきのプロダクトアウトではなく、お客さまの困りごとや、問題解決を目的としてニーズを満たす、マーケットインに重きを置く。

「お客さまからどれだけテーマをいただけるかですね。製品が完成してもテストマーケティングや、試験、検査などで機能や強度を満たさないと、いろいろな問題が出て製品化する

までに3、4年はかかります。その間、投資した費用は回収できませんし、試作品にはコストがかかっています。それでもあきらめずに開発を続けていくのですが、こういった地道な作業は簡単なことではなく、高い参入障壁になるので製品化に手こずるのは他社が真似できないことなので悪いことではないと思っています。むしろ嬉しいからこそ、やりがいがありますね」

2008年に先代から二代目を継いで以来、現在も毎月の朝礼で社員に語りかける。「顧客目線とは顧客の都合100%、自社の都合0%のことである」。岡室が残した数々の語録は冊子にまとめられ、ものづくりの達人たち一人ひとりにしっかりと浸透し、まだ見ぬ、新製品誕生の息吹となっている。



港製器工業株式会社
〒569-8588
高槻市唐崎中3-20-7
TEL: 072-677-6641
FAX: 072-678-5237
<https://www.minatoseiki.co.jp>

